

○「多様な担い手が共存・協働する農業・農村づくり」

(京都府亀岡市第2ブロック地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

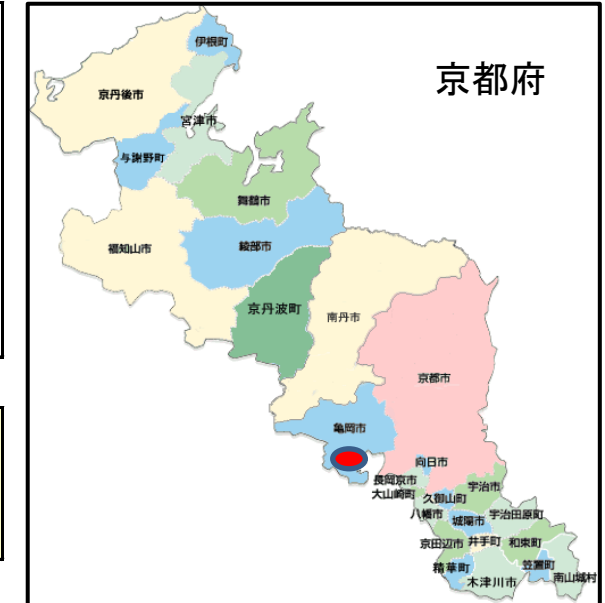
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月15日(金)午後8時~10時30分
- 場 所: 西別院自治会館
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員6人
現地推進役 森田
- 報告者: 森田 一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 平地農業から中山間地農業まで混在する地域。
- 犬甘野地域において新規就農・研修性が入植。
-

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 森田現地推進役より資料説明。
- 長沢委員:研修生の受け入れや指導(5アールの「レタス」栽培で1千万円を！)
- 江見委員:40~50aの水稲栽培で生活できるのか?
- 小規模農家では地区の農地を守ることは困難。営農組織の立ち上げを目指す。
-
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援